

NIHON CHEMTREX CO.,LTD

〒174-0043 13-39-1 SAKASHITA ITABASHI-KU TOKYO JAPAN
TEL:(03)3430-1139

アミン系物質対応消臭剤

エアクレンス FC-AM11、AM12、AM13

【特 長】

エアクレンスFC-AM11、AM12、AM13は、元となる消臭剤:AM08のウレタン発泡体に対する変色(黄変)を低減させたものである。AM11は植物抽出液・有機酸を、AM12はヒドロキシ酸を主成分とし、AM13はAM11とAM12の両成分を組み合わせたもので、アミン系物質に対し優れた消臭効果をもたらします。

- 1) 比較的耐熱性の高い成分で構成されておりますので、通常レベルの加工条件では性能を維持しております。※耐熱温度：190～200℃
- 2) ウレタン発泡体に対する変色（黄変）が低減されております。 *塗布7日後:黄変は少ない。
- 3) 安全性の高い成分で構成されております。

【性 状】

	FC-AM11	FC-AM12	FC-AM13
成 分	アミン化合物・オキシ酸混合物		
	ヒドロキシ酸		
	植物抽出液		植物抽出液
	有機酸		有機酸
	有機酸塩		有機酸塩
	クエン酸三ナトリウム(pH調整剤)		
	PEG(ポリエチレングリコール)		
	浸透剤(ノニオン系界面活性剤)		
	純水		
	無色ないし淡黄色透明液体		無色ないし淡黄色半透明
外 観	無色ないし淡黄色透明液体		無色ないし淡黄色半透明
臭 い	微臭(主に浸透剤の臭い)		
比 重 (25℃)	1.092±0.05	1.148±0.05	1.136±0.05
p H (25℃)	5.0±0.5	4.2±0.5	4.6±0.5
固形分	19.54±1.0	28.47±1.0	27.49±1.0

【用 途】

: 本剤AM11、AM12及びAM13はスプレー塗布用途がメインである。
尚、状況に応じて樹脂に添加することもできる。

【消臭性能】

: 対象物質「アンモニア及びトリメチルアミン」に対する消臭性能

1) 試験体の作製

各消臭剤の原液を30%に希釈し、25cm²の口紙に40μl 塗布した後、120℃の熱風で2分間乾燥し試験体とする。

2) 試験方法

1Lのガラス容器に試験体を入れた後、所定濃度の対象物質水溶液を所定量滴下した後直ちに密閉し、1時間経過後の対象物質残存臭ガス濃度を検知管にて測定する。

3) 試験結果

試験体	対象物質残存ガス濃度 (ppm)	
	アンモニア	トリメチルアミン
空ブランク	170	160
FC-AM11	3.5	2
FC-AM12	0	0

FC-AM13	<1	0
---------	----	---

【耐フォギング性】

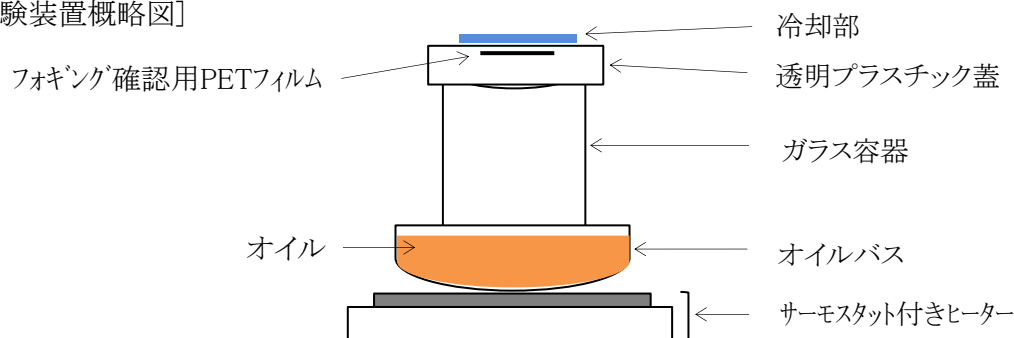
1) 試験体の作製

消臭剤の原液を5cm×6cmの口紙に90 μ 1塗布した後、120℃の熱風で2分間乾燥させたものを試験体とする。

2) 簡易試験方法

- ・100℃に加熱したオイルバスに、高さ170mm、上部の開口部（上口部）が直径70mmのガラス容器を下部がオイルバスのオイルに35mm程度沈むように設置する。
- ・次に透明なプラスチックの円形蓋の内側に、45mm×45mmの透明なポリエステルフィルム（50 μ ）を張り付けた後ガラス容器の上口部分に設置する。
- ・前記円形蓋の上部には「冷却部」として厚手の不織布をのせ、さらにその上には蓄冷剤を載せてプラスチックの円形蓋上部が約10℃に保持されるよう冷却する。
- ・オイルの温度を100℃に、冷却部を10℃に保ちながら3時間後の「フォギング確認用PETフィルム」の曇り状態を確認する。

〔試験装置概略図〕



3) 試験結果

試験体	判 定		判定基準
FC-AM11	○	5	○(5): 付着物が無く透明 △(3): 付着物で曇りがややある ×(1): 付着物が多く曇りで先が見えない
FC-AM12	○	5	
FC-AM13	○	5	

【耐腐食性】

1) 試験方法

- ① 2枚重ねのガーゼ（6cm×6cm）に薬剤を2g染み込ませる。
- ② 薬剤を染み込ませたガーゼの上に金属片を載せ、更にその金属片の上から薬剤を振りかける。
- ③ 常温常湿（20～25℃、55～65%）にて放置し、金属片の外観を観察する。

※金属片は手に入りにくいいため、ホームセンターで各種金属の釘及び太めの針金を入手。

金属片: 鉄、SUS（ステンレス）、アルミ、黄銅（真鍮）、銅

2) 試験結果

薬剤	経過日数	金属片				
		鉄	SUS	アルミ	黄銅	銅
水	1日	×	○	○	○	○△
	7日	×	○	○	○△	△
FC-AM11	1日	○△	○	○	○△	○
	7日	△	○	○	○△	○
FC-AM12	1日	○△	○	○	○△	○
	7日	△	○	○	○△	○
FC-AM13	1日	○△	○	○	○△	○
	7日	△	○	○	○△	○
判定基準	○: 腐食していない △: やや腐食している ×: 腐食している					
	(数値による判定基準) ×:1 ×△:2 △:3 ○△:4 ○:5					